

教育広報

いわみざわ市の教育

…特集… 東日本大震災から学ぶ…
北村中学校のとりくみから



～空知婦人会館～

空知婦人会館では、0 歳児教育学級などの各種講座が実施されているほか、様々なサークル活動も行われています。開催される講座などは、教育委員会ホームページの「お知らせ・行事案内」でも紹介しています。

岩見沢市教育委員会ツイッター

市教委 HP の更新情報や、イベント情報などをつぶやいています！
ぜひ、フォローしてください。
http://twitter.com/iwamizawa_edu



東日本大震災から学ぶ…

北村中学校のとりくみ

(北村中学校作成)



平成23年3月11日から2度目のお盆が過ぎました。

北村中学校では、東日本大震災以降、この大惨事を生きた教材として、様々な授業を実践してきています。

今回は、それらの主なとりくみを紹介します。



津波に襲われた田野畑村の駅

で、報道だけでは分からない貴重なものを学びました。

津波が来た境目が、震災後の生活の分かれ目に。何もない場所、そのままの場所。津波という大自然の力には人間はかなわない現実、復興に向け一歩ずつ確実に前進している現状。

語り部の話を聞いている時も、私たちの横を多くのダンプカーが行き来していました。復興のエネルギー、再建に向けたパワーを感じました。

生徒の作文から

◇ バスに乗りながら実際に被災地を回り、語り部の方々の話を聞きました。復興に向かいつつある土地はまだまだ瓦礫が多く残っていたり、折れた木が散乱していたりしていました。その傷跡が津波の全てを物語っているように感じました。

実際に話を聞いていると、テレビやインターネットの情報とは比べものにならないくらいの被害でした。(加藤 那奈)



田野畑駅の見学

◇修学旅行での被災地訪問

北村中学校の3年生(23人)が今年の5月中旬、被災した岩手県田野畑村を修学旅行で訪れました。田野畑村にとっては、震災以降、初めてとなる村内宿泊の教育旅行ということでした。その中で生徒たちは、「津波体験語り部」の話を聞き、自分の目、耳、肌、心

また、バスを降り歩いていると、次々に目に飛び込んでくるのは、連絡先が貼ってある空き家になった民家や波の勢いで運ばれた大きな岩などでした。歩けば歩くほど、大震災の裏側の報道されない被害をたくさん感じました。

そんな状況でも、田野畑村の人たちは皆、明るい顔で私たちを迎えてくれました。そんな人たちのいる前で涙は流せませんでした。(吉野 百音)

前向きに生きること

「家が半壊した。生きるため、生活するには、前に進むしかない。今をどん底と思い、これよりは良くなることを信じ前へ進むしか…」という現地の方の話を聞き、逆に自分たちの生活を考えさせられました。



田野畑村での講話

◇生命について考える全校集会

震災から5日後の平成23年3月16日には、「生命について考える全校集会」を生徒会を中心に開催しました。

スライド写真等を使つての震災の現状の紹介、世界の人たちから見た私たち、また、自分たちのできることは何かなどみんなで考える時間となりました。



全校集会

のように津波に飲まれた車や家屋。寝たきりの家族を置いて逃げたことへの罪悪感。家族の遺体を持ち帰ることができない現状。物が散乱しているスーパで、落ちていた物を律儀に拾い、列に黙って並んでお金を払って買い物をする姿に絶句した多くの海外の人たち。自分たちのできることは、募金と節約。そして何より、今の自分の生活を一生懸命生きることの大切さ。そんなことを確認しながら、最後に、被災地の中学生の「今一番したいことは学校に行くこと。勉強がしたい。友達といっぱい遊びたい。」というインタビューを紹介し、集会を終えました。

◇道徳の授業、講演会、そして募金活動

道徳での「生命」「感謝」を考える授業、「災害派遣の体験から」と題し自衛隊の方々と講師に招いた教育講演会と年間をとおして活動を展開してきました。



道徳の授業



教育講演会

◇であえーる岩見沢で展示

これら北村中学校の「東日本大震災」としておたとりくみを、であえーる岩見沢3階(教育委員会フロア)に展示します。お立ち寄りの際には、是非ご覧ください。展示期間は平成24年10月1日〜31日を予定しています。

大島・田野畑村への募金活動

北村中学校では、今年度も継続して募金活動を行います。地域の方々からのご協力もお願いします。

お問い合わせは、北村中学校
TEL 56局2021まで。

教育委員会 各課の紹介

教育委員会の各課の仕事を紹介します。

教育委員会を少しでも身近に感じてもらえればと思います。

学校教育課

学校教育課は、教育委員会の会議や教育の情報化の推進のほか、学校施設の建設や修繕、教職員の人事、学校予算などの小・中学校の運営に関わる事務を担当しています。

学校教育課独自の事業として、「夢ふくらむ学びの活動支援事業」があります。これは、子どもたちが自ら学び考える力や、豊かな心と健やかな体を育成するために、各学校が創意工夫のもとで取り組む活動を支援する事業です。具体的には、地域の人材を活用したＴＴ（チームティーチング）指導や、放課後・長期休業中の学習支援、また、ドリル教材等の充実などの学力向上のための活動のほか、米作りや花壇作りなどの農業体験や、生き物の観察・飼育活動などの豊かな人間性を育む活動に対して支援を行っています。

ほかに、直接みなさんの目に触れる事業として、現在、岩見沢小学校の改築工事を行っているところ。新校舎の特徴を2点紹介します。

・給食の運搬だけでなく、車いすでの移動などに対応したエレベーターが設置されます。

・非常用発電機が設置され、避難所としての機能が強化されます。

新校舎の完成は12月の予定です。

10月には来春小学校に入学する新一年生の健康診断が行われるなど、学校教育課も来年度の準備に入っていきます。

今後学習環境の向上を図っていきま

すので、

みなさん

のご理解

ご協力を

よりしく

お願いし

ます。



岩見沢小学校新校舎 完成予定図

生涯学習振興課

こんにちは、生涯学習振興課です。生涯学習振興課では、空知婦人会館を中心とした様々な

学習活動の支援、みなさんの学びをお手伝いする事業を展開しています！

小・中学生のみなさんには、地域の身近な講師に様々なことを教わる「土曜ふるさと学校」で

おなじみですよね。

笑顔で参

加してく

れるみな

さんが大

好きです。



お仕事を終えた勤労青少年のみなさんが、勤労青少年ホームで大切な仲間との活動に専念している姿を見て、ときに相談に乗り、ときに感動を共有しています。

働く女性のみなさんは、働く

婦人の家を中心に、忙しい主婦業の合間を縫って、サイ

クル活動に打ち込んでいま

す。

高齢者大学の受講生のみなさんの、年齢に関係ない「学びの意欲」に私たちは気づかされ、生きる知恵を逆に学ばせていただいています。

中でも、市民のみなさんの学習欲求に応える中心的な事業は「いわみざわ市民大学」です。毎回多彩なゲストをお迎えし、専門的な講義を熱心に展開していただくとともに、受講生が主体的に取り組める要素も盛り込むなど、まさにみんなで作り上げる大学です。

今年29回目を迎える「みんなで教育を考える日」は、市Ｐ連などの団体からなる実行委員会で綿密に計画され、毎年10月第3土曜日に、300名以上の市民の参加をいただき開催しています。今年は「ワールドカフェ」という手法を取り入れ、座談会をグ

レードアップします。

来春は、いよいよ生涯学習

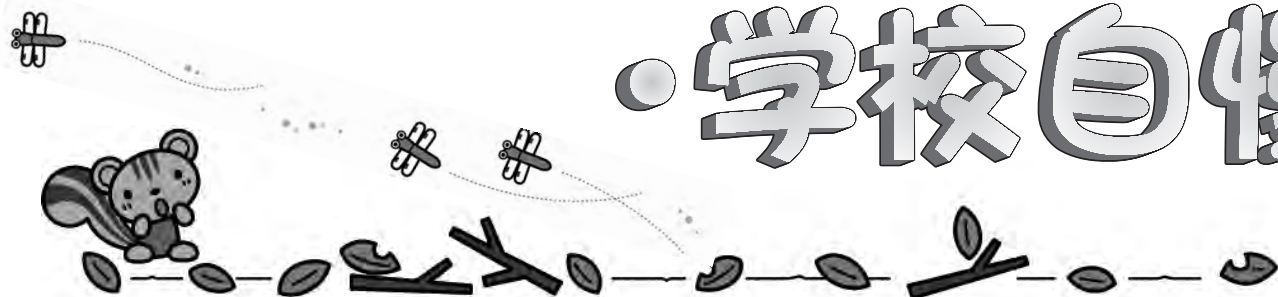
センターがオープンします。

みなさんの学習活動の支援

に、より一層取り組んでいきますので、よりしくお願い

します。

特色ある教育活動 ・学校自慢



市内 26 の小・中学校・市立高校を順に紹介していきます。

地域に根ざした教育活動

北真小学校

本校では、昨年から運動会の準備体操に「ひゃっぴい体操」を取り入れていきます。「ひゃっぴい体操」は、100歳になってもハッピーに、という願いをこめて制作された岩見沢オリジナルの体操です。運動会本番に向け、4月から各学級で練習し、全校でも保健センターの方に指導していただき、練習をしました。この体操の練習を通して、「ふるさと岩見沢」を感じてほしいと願っています。



(玉ねぎ農家での体験)



(ひゃっぴい体操)



3年目の職場実習

緑中学校

7月19日、20日、今年度の職場実習が無事行われました。

総合的な学習の時間の一環として、2010年度に各学年1日間の「職場体験実習」としてスタートし、昨年度から各学年2日間の「職場実習」と形を変え、今日に至っています。

今年度は、1年生83名は農家、公園管理等の31か所に、2年生125名は商業施設、理美容院、飲食店等46か所に、3年生109名は幼稚園、保育所、図書館、教育局等30か所に、そして特別支援学級は2か所の作業所にと計109か所での実習でした。

開始当初は試行錯誤の連続でしたが、昨年度は「双方向交流」と称し、受け入れてくれた先でボランティア活動をしたり、今年度は事前訪問の機会を設けるなど少しずつ進化しています。

学校外の多くの「先生方」からたくさんの方を学び、緑の子は更にキラキラと輝いています。





1 はじめに

岩見沢市父母と先生の会(岩見沢市PTA連合会)は、本市における青少年の健全育成を期することを目的として設立されています。主な活動としては、「総会(4月)」「研究大会(8月)」「教育懇談会(11月)」「母親研修会(11月)」を実施しています。また、南空知PTA連合会及び北海道PTA連合会、さらには日本PTA全国協議会とも連携し、親をはじめすべての大人がネットワークでつながり、まちぐるみでの子育てを実感できる環境づくりに努めています。

今回は、先日実施した市PTAの活動の中核をなす研究大会の概要について紹介します。

2 南空知PTA連合会研究大会兼岩見沢市PTA連合会研究大会

今年度は、南空知PTA連合会研究大会の主管が岩見沢市であったため、岩見沢市PTA連合会研究大会を兼ねて実施しました。

テーマを『未来を築くのは…実は現在く子どもの可能性を信じてるって幸せなことだと思おう』と設定し、夢見ることの素晴らしさや、挑戦し続けることの大切さを伝えられる大人の存在が、子ども達の「夢」や「希望」を実現するもつとも大きな要因であること



を再認識したいという願いのもと、実施しました。



第一部では『親学講座』と題して、空知教育局教育支援課 石田貴宏社会教育主事に「子ども達の現状と課題」「家庭の役割」「生活リズムの確立の具体」などについてのお話をいただきました。第二部では『思うは招くく夢があればなんでもできる』という演題で、株式会社植松電機 専務取締役 植松努氏にご講演をいただきました。

ご自身の体験談や理念に基づくお話から、未来を担う子どもたちへの熱いメッセージ、そして、それを支える家庭の役割と責任の重要性が伝えられました。特に、「無理」や「無駄」など、子どもの可能性を断ち切る大人の言葉、大人目線による未来予測などが、子どもの「夢」や「希

望」を阻害する大きな要因となることを熱く語っていらつしました。南空知4市5町から参加したPTA会員等約700名の心に深く刻まれる講演となりました。

3 終わりに

今年度の研究大会は、所期の目的を達成し、大きな成果をあげて終了しました。この後、11月30日に各単P役員の資質向上と交流を図ることを目的とした教育懇談会を開催する予定です。



〈問合せ先〉

岩見沢市PTA連合会事務局
事務局長 出口 哲也

(明成中学校 教頭)

TEL 24局3485
FAX 24局4008

健康を維持し増進しましょう

岩見沢市ノルディックウォーキング同好会

ノルディックウォーキングは、健康を維持し増進するフィットネススポーツです。

NPO法人くりさわプロモーションクラブでは、健康にこだわった新しい事業の展開について、数

年前から検討を始めました。

そこでたどり着いたのが、専用のポールを使って地面を押しながら歩く、フィンランド生まれのスポーツ、ノルディックウォーキングです。ポールを使い、腕を振って歩くため、通常のウォーキングに比べ、カロリーの消費量や運動効果は20〜30%増大すると言われています。

日本に伝わって歴史の浅いスポーツですが、近年、静かなブームが起きてきていると言われており、



ポールで歩いていて、人をよく見かけ、うなりました。

昨年3月に講習会を開いたところ、35名の方が集まりました。アンケートの結果、その多くの方が「マイポールを持ってでも取り組みたい。同好会ができれば参加したい」との回答だったので、さっそく同好会を設立しました。

会員が集まっていたのウォーキングを「ノルディックinいわみざわ」と名づけ、年5回、いわみざわ公園をはじめとしたいろいろなコースを歩いています。また、日本のノルディックウォーキング発祥の地、伊達市大滝区で行われる「おおたき国際ノルディックウォーキング」にも参加しています。

同好会が発足して1年が経過し、会員も59名となりました。毎週日曜日の午前8時、栗沢文化センターに集まり、サンデーノルディックウォーキングを行っています。足を十分に

鍛え「健康で長生き」を目指して、仲間と楽しくおしゃべりをしながら、歩き続けています。



民謡の楽しさ

黒滝 昇涛

昭和53年、私は昇涛民謡会を設立しました。私自身、岩見沢民謡連合会の会員として各種大会に出場し、重圧を何度か味わったものでした。その経験を生かして、幼少年から一般、熟年、寿年まで、私についてくる幅広い年代の生徒たちを指導し、これまで数多くの大会に出場させてきました。

子どもたちの指導には特に力を入れてきました。昭和55年には、道南口説節全国大会に初めて生徒が出場しました。まだ小学生だった、現在は一般会員の生徒たちを連れて函館市に遠征し、少年の部で3位に入ったものでした。その後これまで道央地区連大会の上位入賞者を数多く出してきました。

また、ここ数年では、岩見沢民謡連合会の大会で優勝者を数多く出せるようになりました。全道大会でも、平成23年の全道民謡大会全国民謡の部の一般の部で井村智恵が見事全道一に輝くなどの実績を残しています。今年5月に夕張市で行われた道央地区連大会の熟年の

部でも上村喜代江が優勝を果たし、全道大会に出場できることになりました。岩見沢を代表して良い結果を出すように頑張ってください。を楽しみにしています。



平成23年
北海道知事旗争奪全道民謡決勝大会
全国民謡の部 優勝
井村 智恵



平成24年
道央地区連民謡優勝大会
熟年の部 優勝
上村 喜代江

指導室から

夢と希望と感動をもらったロンドンオリンピックが開催された今夏、テレビの前で選手の活躍に一喜一憂しながら熱い応援をしていた家庭も多いことでしょう。また、甲子園球場で行われた高校野球では、岩見沢市出身の選手が活躍しました。そのように輝いている選手の姿をみて、自分の夢や目標をきめた子どももいるのではないのでしょうか。

スポーツ活動ばかりではなく、文化的活動を含め、岩見沢市の子どもたちは、大変な頑張りをを見せています。地区予選を勝ち抜き、全道大会や全国大会へとすすむ活動も多くあります。今年の中体連を例にとると、「13団体67個人」が全道大会へ、そして「4団体5個人」が全国大会へとすすむなど、優秀な成績をおさめています。

これらの輝かしい栄光は、ひたむきに努力しながら真剣に活動する子ども（選手）はもちろんですが、熱い志をもった指導者、選手やチームをしつかりと支える保護者・地域の方々の2者があってこそ、はじめてつかみとることができるのです。裏をかえすと、この3つのうちどれかひとつでも欠けてしまうと、願う結果にはつながりませ

家でできる 簡単給食ししぴ♪ 「ホイコーロー」(6月の給食より)

材料(4人分)

キャベツ…1/4個(200g程度) ヒーマン…1個 豚もも肉 …120g
長ねぎ …1/2本 竹の子 …20g にんにく …1片
ごま油 …少々

【合わせ調味料】

オイスターソース…小さじ1 酒 …小さじ1 三温糖…小さじ1
テンメンジャン …小さじ2 醤油…大さじ1 トウバンジャン、唐辛子…少々

作り方

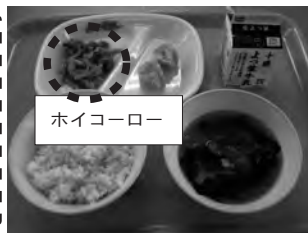
- ① キャベツは、大きめのひと口大、ヒーマンはスライス、竹の子は千切り、長ねぎはハス切り、豚肉はスライス、にんにくはみじん切りにする。
- ② ごま油でにんにくを炒め、豚肉、竹の子、長ねぎ、キャベツの順で炒める。
- ③ ②に合わせ調味料を入れる。
- ④ 仕上げにヒーマンを炒めてできあがり。

ひとくちメモ

岩見沢市内でおいしいキャベツがたくさんとれています。給食のキャベツ料理の中で一番人気があるのがこの「ホイコーロー」です。

ご家庭にテンメンジャンがない場合は、みそで代用しても作ることができます。知らず知らずにとくさんのキャベツが食べられる献立です。ポイント、キャベツを炒めすぎないことです。ぜひ一度お試しください。

ホイコーローは、中華料理のひとつで、漢字で書くと「回鍋肉」です。本格的な作り方では、材料全てを一度油で素揚げしてから鍋に戻し調味料で合ませます。材料が下調理されて鍋に戻ってくるところからこの名前になったそうです。簡単にいうとキャベツのみそ炒めですが…



ホイコーロー

教育広報のWEB版でカラー写真もご覧いただけます！
市教委HPのトップページにある、このバナーをクリックしてご覧ください。



=ご意見・ご要望をお寄せください=

<担当>

岩見沢市教育委員会学校教育課情報企画係
〒068-0024

岩見沢市4条西3丁目1番地であえーる岩見沢3階

☎ 0126-35-5123

FAX 0126-25-2995

メール ejyouhou@i-hamanasu.jp

近年、保護者等から、「大会で勝つためにもっと指導してほしい」「練習時間を増やしてほしい」、反対に「練習が厳しすぎる」「練習時間が長すぎる」などの様々な声を聞きます。

スポーツや文化等の活動を通して、互いに切磋琢磨し、仲間との連帯感や豊かな感性をばぐくんでいる子どもたちにとって、今、何が必要か、何を支援すべきかを互いがそれぞれの立場で考え、理解・尊重してすすめていきたいものです。

子どもたちの『汗と笑顔』のために・・・

気をつけよう 通学路などでの自動車運転

今年の4月以降、全国各地で登下校中の子どもたちが交通事故に巻き込まれ、死傷者が発生する痛ましい事故が相次いでいます。車を運転される方々は、スピードの出しすぎや脇見運転などに注意し、十分な安全運転を心がけていただきますようお願いいたします。

メープル小学校 特認校入学説明会のお知らせ

メープル小学校は市内全域からの入学を認める小規模特別認可校（特認校）制度を導入しています。

来年4月の入学に向けた募集に先立ち、説明会を開催します。

特認校入学説明会

- ・日 時 11月27日(火)
- ・受付 午後1時～1時20分
- ・授業参観 午後1時25分～2時10分
- ・説明会 午後2時20分～3時20分
- ・会場 メープル小学校(上志文町107)
- ・申込 11月26日(月)までにメープル小学校

☎ 0126-44-2205 へご連絡ください。

授業参観は上記のほか、

11月16日(金) 公開研究会

12月7日(金) 授業参観日 にも行います。

©ホームページで学校情報を発信しています。
<http://www2.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kyouiku/school/maple/index.html>